

交通安全のために

～平成27年中の交通事故から～

みんなで進める
交通事故抑止のための
重点4 S等対策

Silver

【高齢者の交通事故防止】



Seatbelt

【シートベルト着用促進】



交差点事故防止



Speed

【速度抑制】



Sake

【飲酒運転根絶】



三重県警察本部



はじめに

平成27年中における全国の交通事故死者数は4,117人(前年比プラス4人)で、15年ぶりに増加となりました。

一方、三重県内においては、交通事故死者数は87人で前年と比べ25人減少し、三重県警察が設置された昭和29年以降最少を記録しました。また、人身事故件数は11年連続、負傷者数は10年連続で減少しました。

しかしながら、交通事故死者に占める高齢者の構成率や、四輪乗車中死者のシートベルト非着用率は高い水準にあるなど、依然として厳しい交通情勢にあります。

本資料は、三重県の厳しい交通情勢をご紹介することにより、皆様がそれぞれの立場で交通事故防止について考え、交通ルールを遵守することの大切さを再認識していただくための資料として作成したものです。

一人でも多くの方が、思いやりとゆとりを持って、安全な交通行動を実践していただければ、交通事故は確実に減少します。

悲惨な交通事故を1件でも減少させるため、本資料を効果的にご活用いただきますようお願い申し上げます。

平成28年4月

三重県警察本部

目次

第1	都道府県別交通事故発生状況	1
第2	交通情勢からみた三重県の位置	2
第3	三重県の交通事故発生状況	3～16

1	交通事故発生状況	3
2	過去10年の年別推移	3
3	市町別	4・5
4	月別	6
5	曜日別	6
6	時間別	7
7	路線別	7
8	地形・道路形状・道路線形別	8
9	事故類型別	9
10	第1当事者の年齢層別	10
11	第1当事者の事故原因別	11
12	第1当事者の職業別	12
13	死傷者の年齢層別	13
14	死傷者の状態別	14
15	シートベルトの着用状況	15
16	ヘルメットの着用状況	16

第4	各種の交通事故	17～25
----	---------------	-------

1	子供の交通事故	17
2	高校生の交通事故	18
3	高齢者の交通事故	
(1)	全体	19
(2)	高齢運転者	20
4	歩行者の交通事故	21
5	自転車の交通事故	22
6	二輪車の交通事故	23
7	若年運転者の交通事故	24
8	飲酒運転の交通事故	25

● 用語の意味 ●

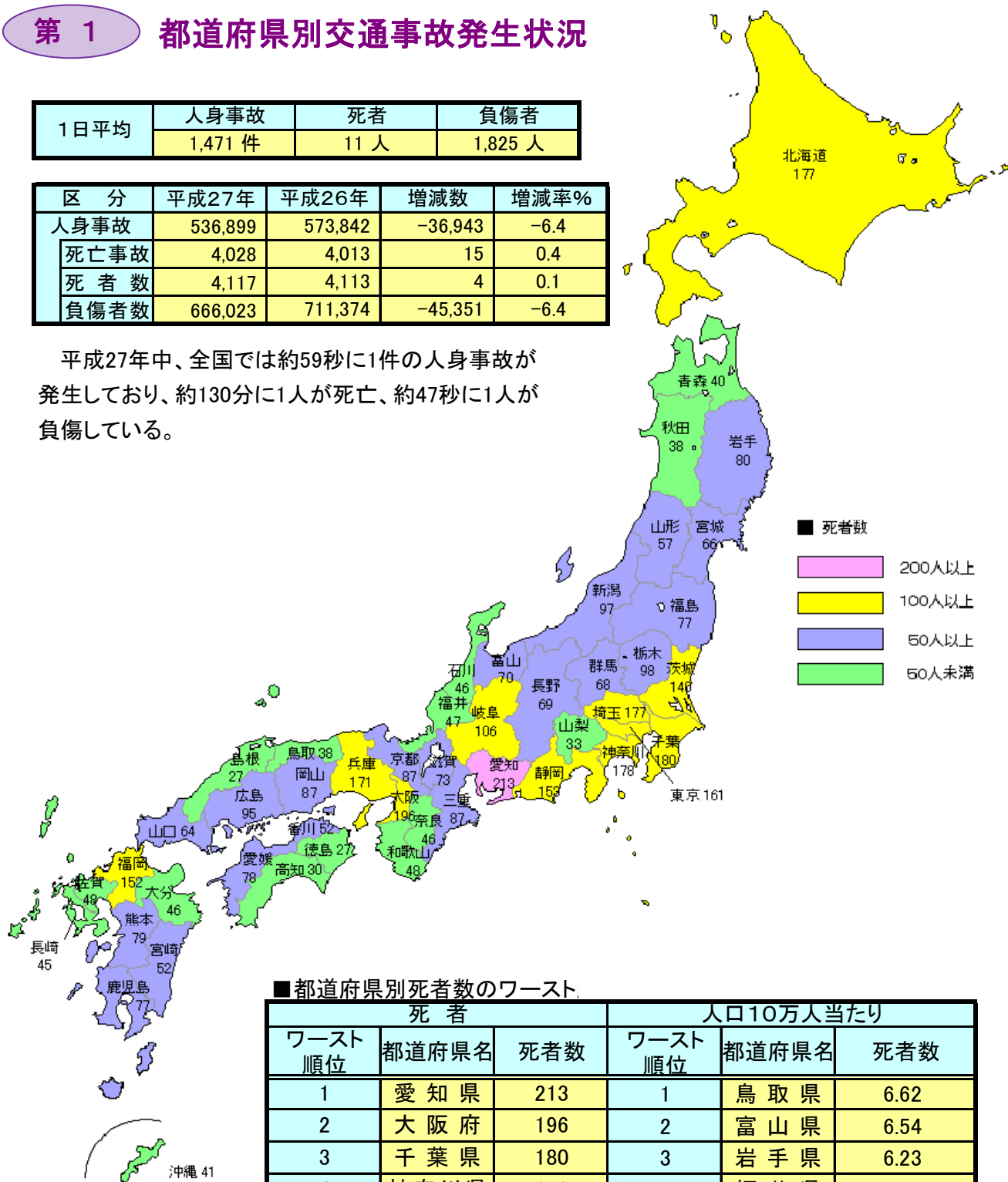
- ★ 交通事故 …… 道路上において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡または負傷を伴うもの（人身事故）及び物損事故をいう。
- ★ 人身事故 …… 人の死傷を伴う交通事故をいう。
- ★ 物損事故 …… 物の損壊のみの交通事故をいう。
- ★ 死亡事故 …… 人身事故のうち、人の死亡を伴う交通事故をいう。
- ★ 死者 …… 交通事故発生後24時間以内に死亡した者をいう。
- ★ 第1当事者 …… 交通事故に関与した人のうち、過失が最も重い者をいい、過失が同程度の場合は、被害が最も軽い者をいう。
- ★ 構成率 …… 全体(合計)に占める各項目の構成割合をいい、四捨五入してあるので合計と一致しないものもある。
- ★ 致死率 …… $\frac{\text{死者数}}{\text{全死傷者数}} \times 100$ をいう。
- ★ 死傷者率 …… 全死傷者数に占める各種の交通事故(子供・高校生の交通事故等)の死傷者数の構成割合をいう。
- ★ 事故率 …… 全事故に占める各種の交通事故(子供・高校生の交通事故等)の構成割合をいう。
- ★ 事故類型 …… 事故をまず当事者の種類(人又は車両)によって類型化し、次いで当事者の事故時の行動等(動き、位置、衝突物等)によって更に細かく類型化したもの。
- ★ 状態別 …… 事故当事者の事故当時の状態(自動車運転中、自動車同乗中、歩行中等)をいう。
- ★ 車両等 …… 自動車、二輪車(原付車を含む)、自転車をいう。

第 1 都道府県別交通事故発生状況

1日平均	人身事故	死者	負傷者
	1,471 件	11 人	1,825 人

区 分	平成27年	平成26年	増減数	増減率%
人身事故	536,899	573,842	-36,943	-6.4
死亡事故	4,028	4,013	15	0.4
死 者 数	4,117	4,113	4	0.1
負傷者数	666,023	711,374	-45,351	-6.4

平成27年中、全国では約59秒に1件の人身事故が発生しており、約130分に1人が死亡、約47秒に1人が負傷している。



■ 都道府県別死者数のワースト

死 者			人口10万人当たり		
ワースト順位	都道府県名	死者数	ワースト順位	都道府県名	死者数
1	愛知県	213	1	鳥取県	6.62
2	大阪府	196	2	富山県	6.54
3	千葉県	180	3	岩手県	6.23
4	神奈川県	178	4	福井県	5.95
5	北海道	177	5	佐賀県	5.75
5	埼玉県	177	6	愛媛県	5.59
7	兵庫県	171	7	香川県	5.30
8	東京都	161	8	岐阜県	5.19
9	静岡県	153	9	滋賀県	5.16
10	福岡県	152	10	山形県	5.04
16	三重県	87	14	三重県	4.77

※人口10万人当たりの死者数は、総務省資料「平成26年10月1日現在推計人口」を使用

第 2 交通情勢から見た三重県の位置

区 分		三 重 県		全 国	備考 (年月日)
			順位		
人 口 (人)		1,825,000	22	127,083,000	平26.10.1
面 積 (km ²)		5,774.39	25	377,972.28	平26.10.1
道路実延長 (km)		25,316.4	20	1,218,830.1	平26.4.1
免 許	人 口 (人)	1,265,978	22	82,150,008	平27.12.31
	保 有 率 (%)	69.37	9	64.64	
	県民1.44人に1人の割合		国民1.55人に1人の割合		
自 動 車	台 数 (台)	1,508,752	21	81,177,010	平27.10.31
	保 有 率 (%) (自 動 車 1 台 当 た り)	82.67 (1.21人)	11	63.88 (1.57人)	
原 付	台 数(1・2種) (台)	127,767	19	8,112,886	平26.4.1
	保 有 率 (%) (原 付 車 1 台 当 た り)	7.00 (14.28人)	20	6.38 (15.66人)	
交 通 事 故	人 身 事 故 件 数	7,169	23	536,899	平27年中 (ワースト順位)
	人口10万人当たり	392.82	22	422.48	
	死 者 数	87	16	4,117	
	人口10万人当たり	4.77	14	3.24	
	免許人口1万人当たり	0.69	13	0.50	
	自 動 車 1 万 台 当 た り (原 付 含 む)	0.58	15	0.51	
	道 路 1 0 0 0 km 当 た り	3.44	25	3.38	
	1億走行台キロ当たり	0.83	27	0.87	
	致 死 率	0.91	19	0.61	
備 考	・ 人口は、総務省統計局公表の平成26年10月1日現在の推計人口である。 ・ 面積は、国土地理院資料による。 ・ 道路実延長、自動車台数及び原付台数は、国土交通省資料による。 ・ 免許人口、交通事故(人身事故件数、死者数)及び1億走行台キロは、警察庁資料による。 ・ 人口10万人当たりの算出根拠は、総務省統計局公表の平成26年10月1日現在の推計人口である。 ・ 致死率は、死者数÷死傷者数×100をいう。				

第 3 三重県の交通事故発生状況

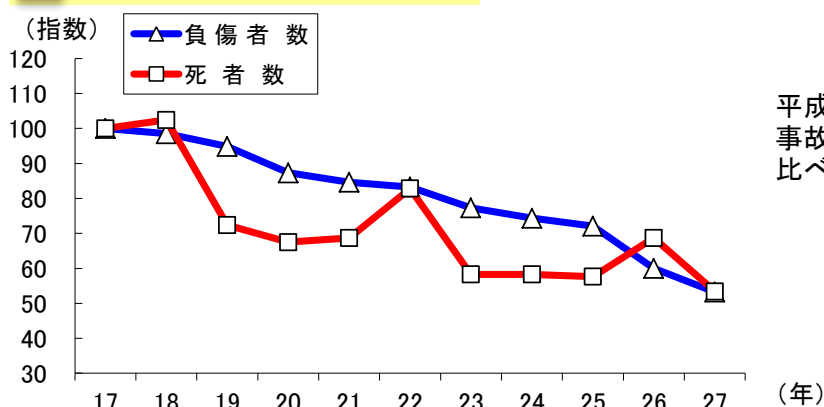
1 交通事故発生状況

区 分	人身事故	死者	負傷者
1 日 平 均	19.6 件	0.2 人	26.1 人

区分	平成27年	平成26年	増減数	増減率%
人 身 事 故	7,169	8,100	-931	-11.5
死亡事故	86	109	-23	-21.1
死者数	87	112	-25	-22.3
負傷者数	9,517	10,717	-1,200	-11.2
物 損 事 故	54,505	54,342	163	0.3

平成27年中、三重県では、73分に1件の人身事故が発生しており、4日に1人が死亡、55分に1人が負傷している。

2 過去10年の年別推移



年	人 身 事 故						物 損 事 故	
	発生件数	指数	死者数	指数	負傷者数	指数		指数
平成 17 年	13,441	100	163	100	17,874	100	53,786	100
18 年	13,123	98	167	102	17,610	99	52,253	97
19 年	12,790	95	118	72	16,957	95	49,984	93
20 年	11,886	88	110	67	15,608	87	49,907	93
21 年	11,372	85	112	69	15,126	85	49,027	91
22 年	11,275	84	135	83	14,878	83	51,730	96
23 年	10,420	78	95	58	13,813	77	52,016	97
24 年	10,155	76	95	58	13,287	74	53,487	99
25 年	9,804	73	94	58	12,885	72	54,902	102
26 年	8,100	60	112	69	10,717	60	54,342	101
27 年	7,169	53	87	53	9,517	53	54,505	101
17～26年平均	11,237	—	120	—	14,876	—	52,143	—

■ 三重県警察が設置された昭和29年以降における死者の最高を記録した年の発生状況

昭和46年	9,495	—	352	—	13,243	—	10,293	—
-------	-------	---	-----	---	--------	---	--------	---

■ 三重県警察が設置された昭和29年以降における死者の最低を記録した年の発生状況

平成27年	7,169	—	87	—	9,517	—	54,505	—
-------	-------	---	----	---	-------	---	--------	---

3 市町別

人口10万人以上の6市(桑名市・四日市市・鈴鹿市・津市・松阪市・伊勢市)で、人身事故の約68%(4,899件)を占めている。

●最多……四日市市 1,325件(18.5%)

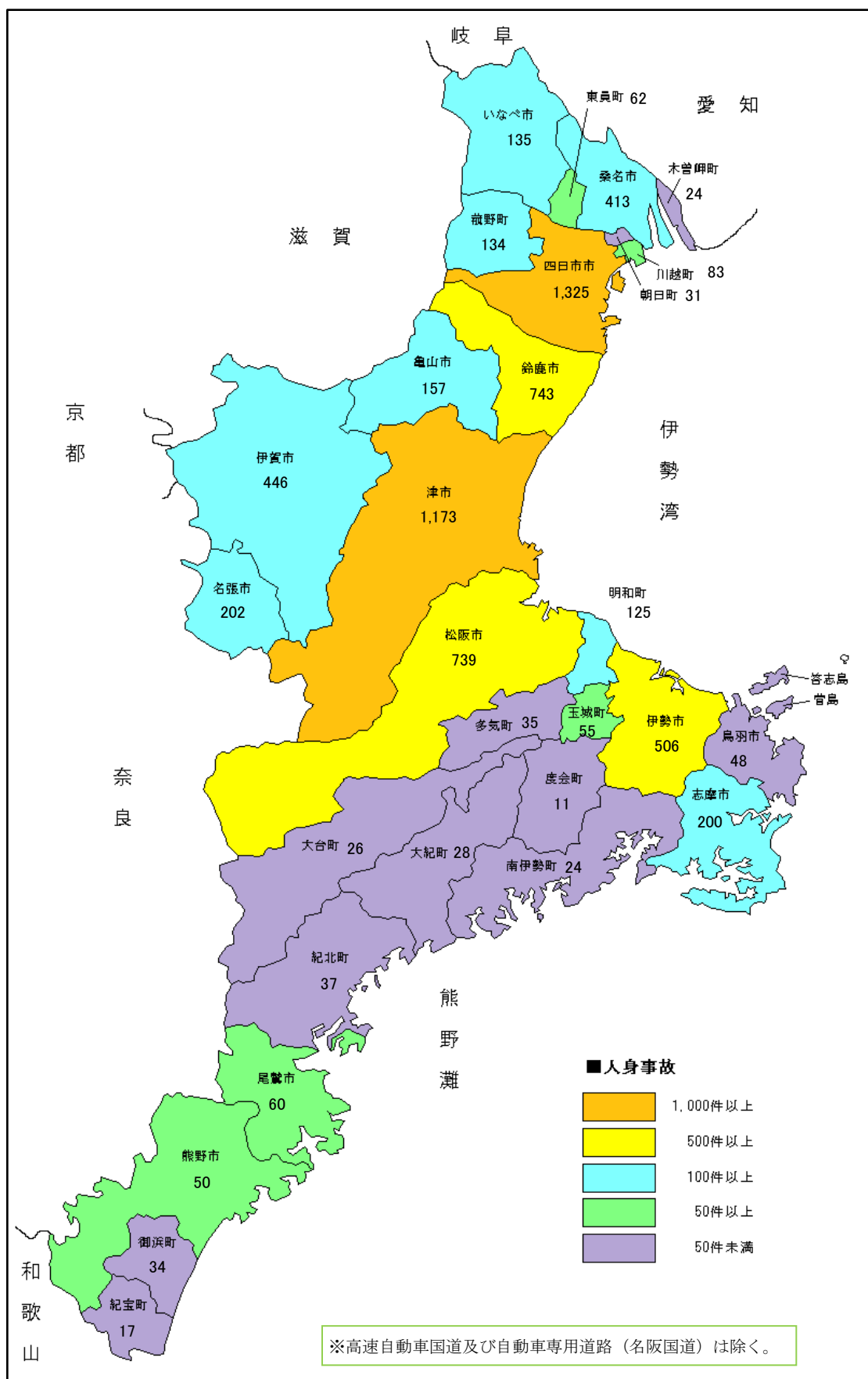
●最少……度会町 11件(0.2%)

署	市 町	人身事故(件)		
			死者	負傷者
桑名	桑 名 市	413	7	530
	木 曽 岬 町	24	0	38
いなべ	い な べ 市	135	1	175
	東 員 町	62	1	79
四日市北	四 日 市 市	449	4	541
	朝 日 町	31	0	44
	川 越 町	83	1	111
四日市南	四 日 市 市	782	5	1,041
四日市西	四 日 市 市	94	1	132
	菰 野 町	134	1	172
(四 日 市 市 計)		1,325	10	1,714
亀山	亀 山 市	157	3	208
鈴鹿	鈴 鹿 市	743	6	997
津	津 市	745	3	997
津南	津 市	428	6	567
(津 市 計)		1,173	9	1,564
松阪	松 阪 市	739	11	943
	多 気 町	35	2	44
	明 和 町	125	3	159

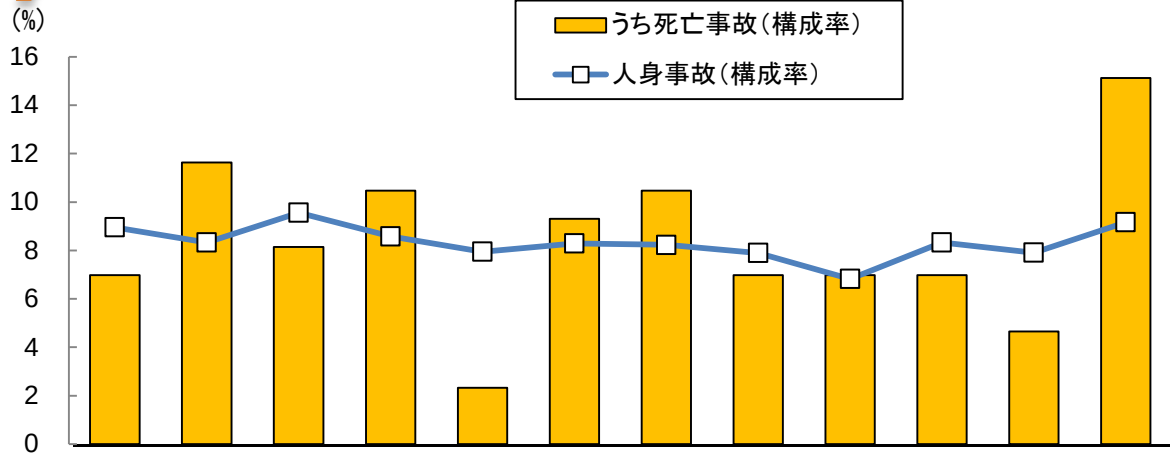
署	市 町	人身事故(件)		
			死者	負傷者
大台	大 台 町	26	1	40
	大 紀 町	28	2	33
伊勢	伊 勢 市	506	5	647
	玉 城 町	55	1	72
	度 会 町	11	0	13
	南 伊 勢 町	24	0	28
鳥羽	鳥 羽 市	48	0	61
	志 摩 市	200	3	270
尾鷲	尾 鷲 市	60	2	75
	紀 北 町	37	2	47
熊野	熊 野 市	49	2	64
紀宝	熊 野 市	1	0	4
	御 浜 町	34	0	58
	紀 宝 町	17	1	23
(熊 野 市 計)		50	2	68
伊賀	伊 賀 市	419	3	554
名張	名 張 市	202	3	242
	伊 賀 市	27	0	34
(伊 賀 市 計)		446	3	588

高 速 隊	246	7	474
-------	-----	---	-----

合 計	7,169	87	9,517
-----	-------	----	-------

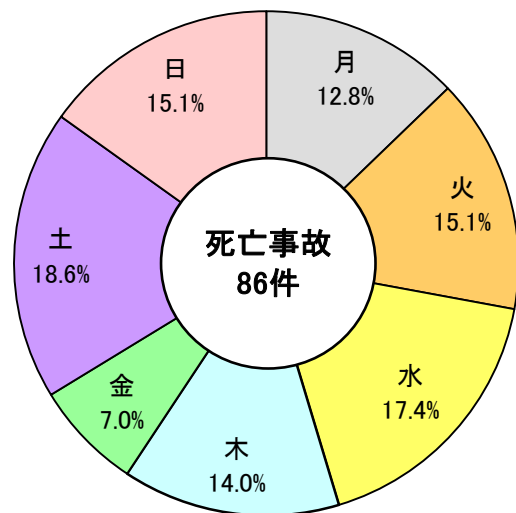


4 月別



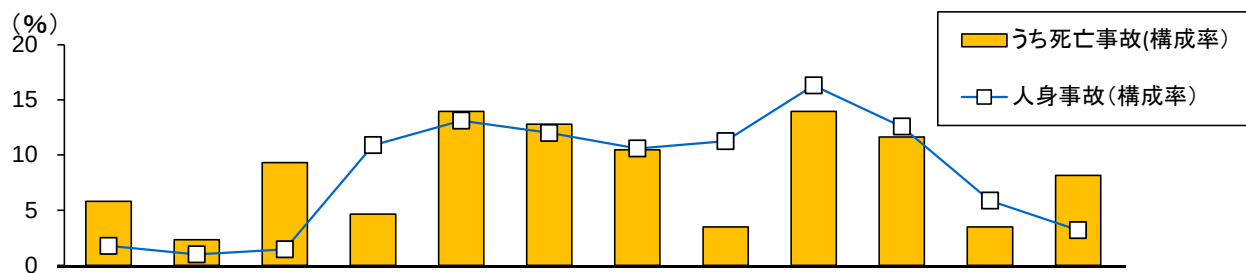
項目\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
人身事故(件)	642	597	685	615	570	594	590	566	489	597	567	657	7,169
構成率	9.0	8.3	9.6	8.6	8.0	8.3	8.2	7.9	6.8	8.3	7.9	9.2	100.0
うち死亡事故(件)	6	10	7	9	2	8	9	6	6	6	4	13	86
構成率	7.0	11.6	8.1	10.5	2.3	9.3	10.5	7.0	7.0	7.0	4.7	15.1	100.0

5 曜日別



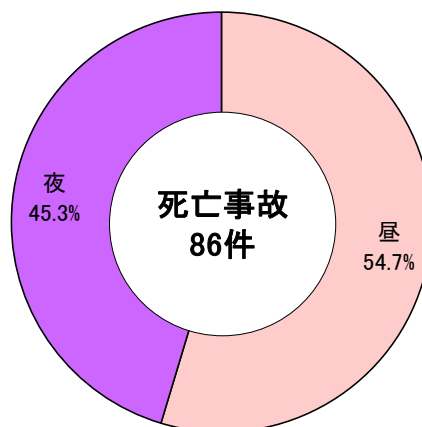
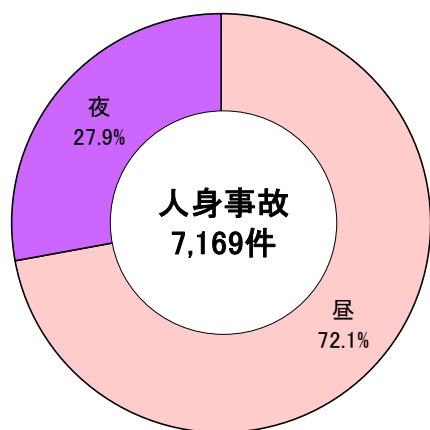
項目\曜日	月	火	水	木	金	土	日	合計
人身事故(件)	1,075	1,059	1,024	1,073	1,102	1,001	835	7,169
構成率	15.0	14.8	14.3	15.0	15.4	14.0	11.6	100.0
うち死亡事故(件)	11	13	15	12	6	16	13	86
構成率	12.8	15.1	17.4	14.0	7.0	18.6	15.1	100.0

6 時間別



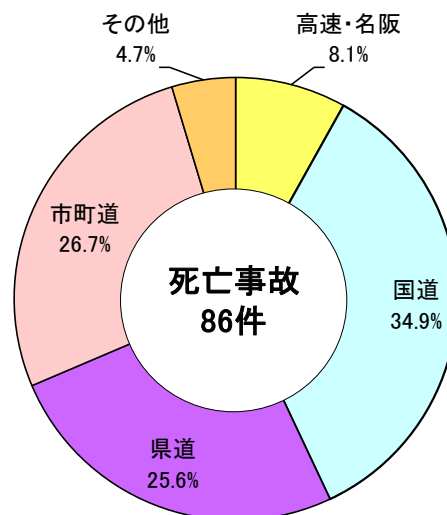
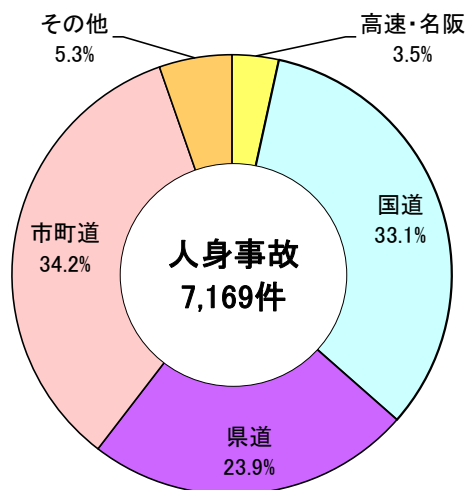
項目	時間	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
人身事故(件)		126	70	104	781	941	861	759	807	1,170	902	420	228	7,169
	構成率	1.8	1.0	1.5	10.9	13.1	12.0	10.6	11.3	16.3	12.6	5.9	3.2	100.0
うち死亡事故(件)		5	2	8	4	12	11	9	3	12	10	3	7	86
	構成率	5.8	2.3	9.3	4.7	14.0	12.8	10.5	3.5	14.0	11.6	3.5	8.1	100.0

☆昼夜別



※昼は日の出から日没までをいう。

7 路線別



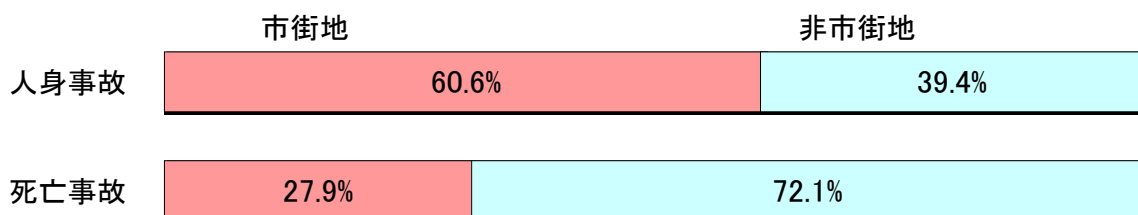
項目	路線		国 道					県 道			市道	町道	その他	合計
	高速	名阪	1号	23号	42号	他	小計	主要	一般	小計				
人身事故(件)	185	61	322	895	330	823	2,370	984	732	1,716	2,265	189	383	7,169
構成率	2.6	0.9	4.5	12.5	4.6	11.5	33.1	13.7	10.2	23.9	31.6	2.6	5.3	100.0
うち死亡事故(件)	4	3	3	4	12	11	30	13	9	22	18	5	4	86
構成率	4.6	3.5	3.5	4.7	14.0	12.8	34.9	15.1	10.5	25.6	20.9	5.8	4.7	100.0

8 地形・道路形状・道路線形別

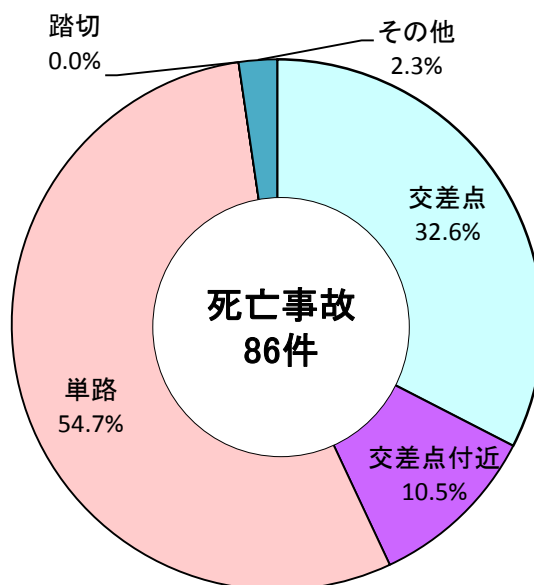
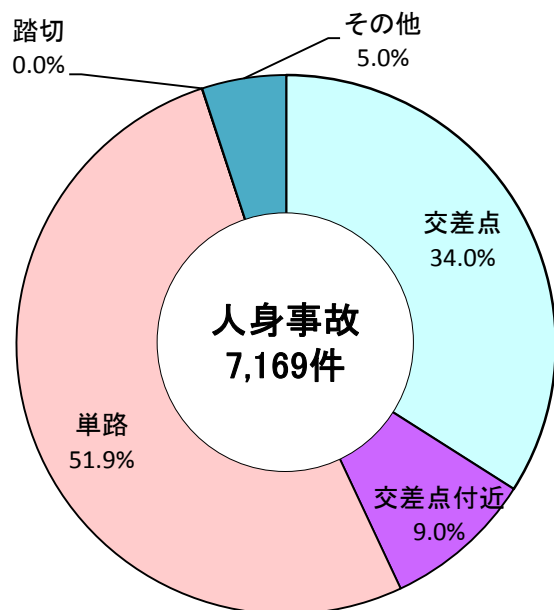
人身事故は市街地で、死亡事故は非市街地で多く発生しており、人身事故・死亡事故とも、4割以上が交差点や交差点付近で発生している。



- 交差点では、信号や一時停止規制を守り、左右の安全を確認しましょう。特に 歩行者や自転車の横断に注意しましょう



※市街地とは、建造物が連立し、またはこれらが混在しており、市街地的形態をなしている地域をいう。



☆道路形状別

区 分	交差点	交差点付近	単路	踏切	その他	合計
人身事故(件)	2,438	646	3,722	2	361	7,169
構成率	34.0	9.0	51.9	0.0	5.0	100.0
うち死亡事故(件)	28	9	47	0	2	86
構成率	32.6	10.5	54.7	0.0	2.3	100.0

☆道路線形別

区 分	カーブ・右	カーブ・左	直線	その他	合計
人身事故(件)	198	204	6,406	361	7,169
構成率	2.8	2.8	89.4	5.0	100.0
うち死亡事故(件)	8	10	66	2	86
構成率	9.3	11.6	76.7	2.3	100.0

9

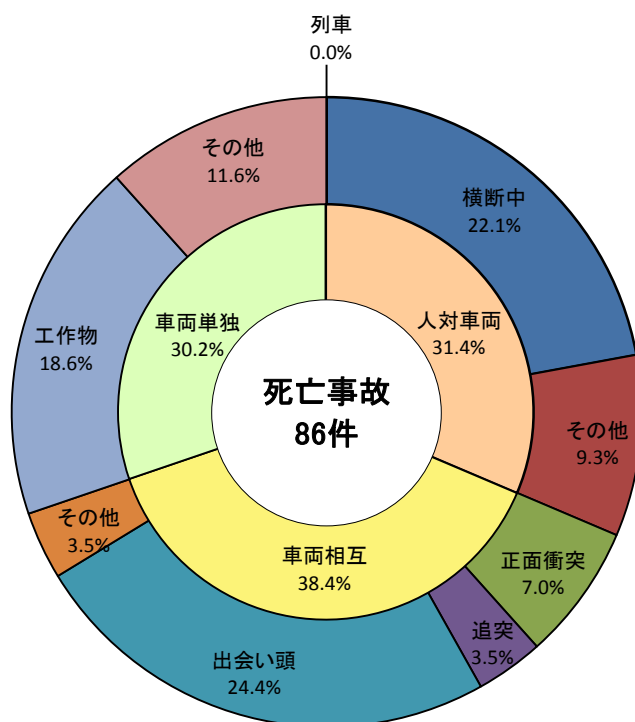
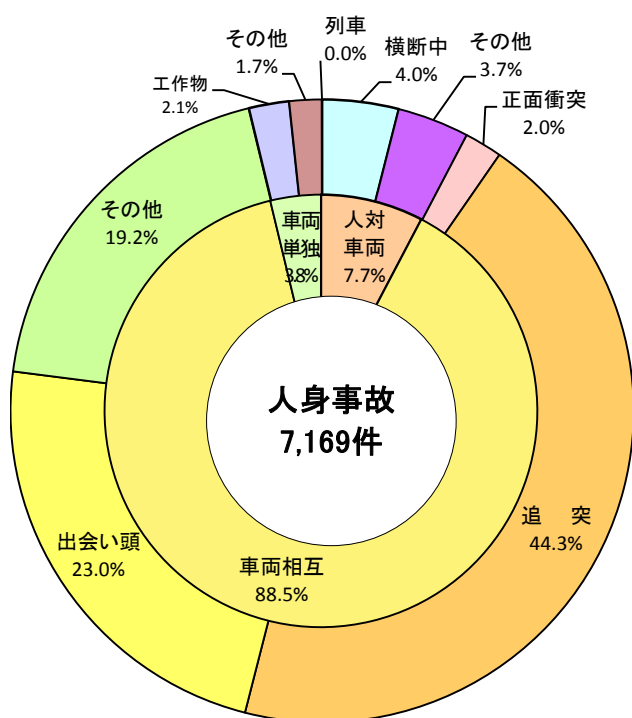
事故類型別

人身事故は、車両相互による追突や出会い頭事故が多く発生している。

死亡事故は、歩行者の横断中事故や車両相互による出会い頭事故が多発している。



- 追突事故は、緊張感欠如がもたらす最たる事故です。緊張感を持った運転を徹底しましょう。
- 夕暮れ時の早目のライト点灯、夜間のライトの向上向き点灯とこまめな切り替えを心がけましょう。
- 夕暮れ時や夜間に外出するときは、夜光反射材を身に着けましょう。



区 分	人対車両					車両相互					車両単独				列 車	合 計
	対・ 背面 通行	横断中		そ の 他	小 計	正 面 衝 突	追 突	出 会 い 頭	そ の 他	小 計	工 作 物	路 外 逸 脱	そ の 他	小 計		
		横 断 歩 道	そ の 他													
人身事故(件)	95	136	148	172	551	140	3,179	1,652	1,376	6,347	150	16	104	270	1	7,169
構成率	1.3	1.9	2.1	2.4	7.7	2.0	44.3	23.0	19.2	88.5	2.1	0.2	1.5	3.8	0.0	100.0
うち死亡事故(件)	5	4	15	3	27	6	3	21	3	33	16	4	6	26	0	86
構成率	5.8	4.7	17.4	3.5	31.4	7.0	3.5	24.4	3.5	38.4	18.6	4.7	7.0	30.2	0.0	100.0

10

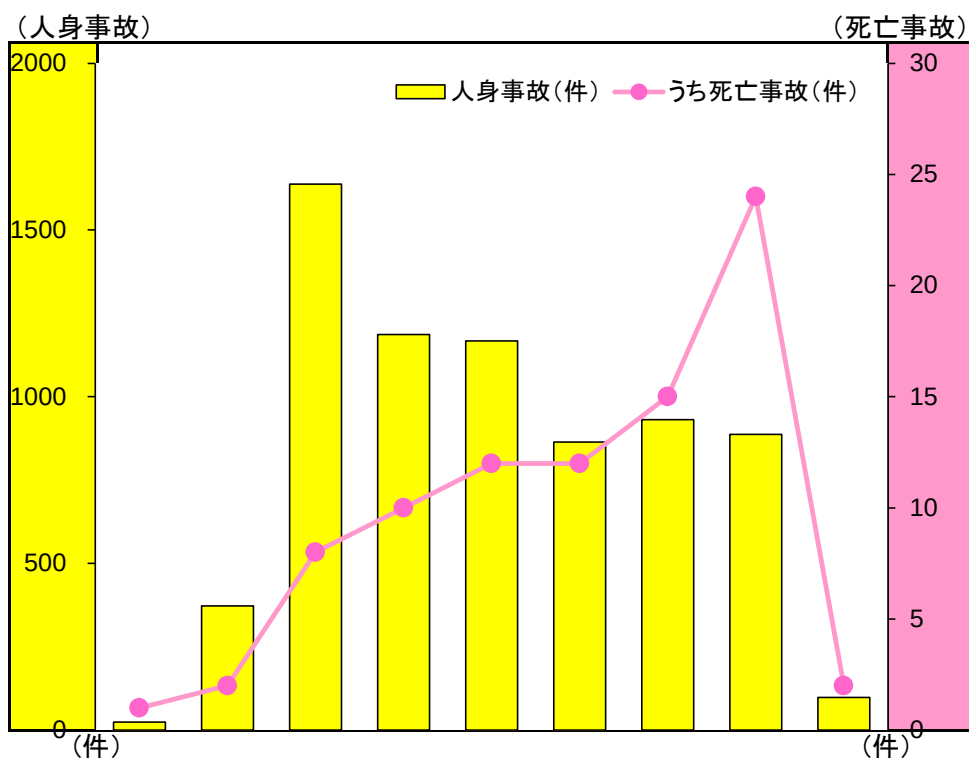
第1当事者の年齢層別

人身事故は20～29歳、死亡事故は70歳以上が最も多い。

第1当事者が高齢者である死亡事故が、全死亡事故の4割近くを占めている。



●道路を利用する全ての人が交通ルールを守り、お互いに注意して、交通事故を起こさないようにしましょう。



区 分	10歳未満	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不明	合 計	再掲			
											子(中学生以下)供	高校生	若(16～24歳)年者	高(65歳以上)齢者
人身事故(件)	24	373	1,638	1,187	1,167	864	931	887	98	7,169	55	62	1,210	1,388
構成率%	0.3	5.2	22.8	16.6	16.3	12.1	13.0	12.4	1.4	100.0	0.8	0.9	16.9	19.4
うち死亡事故(件)	1	2	8	10	12	12	15	24	2	86	2	0	6	34
構成率%	1.2	2.3	9.3	11.6	14.0	14.0	17.4	27.9	2.3	100.0	2.3	0.0	7.0	39.5

11

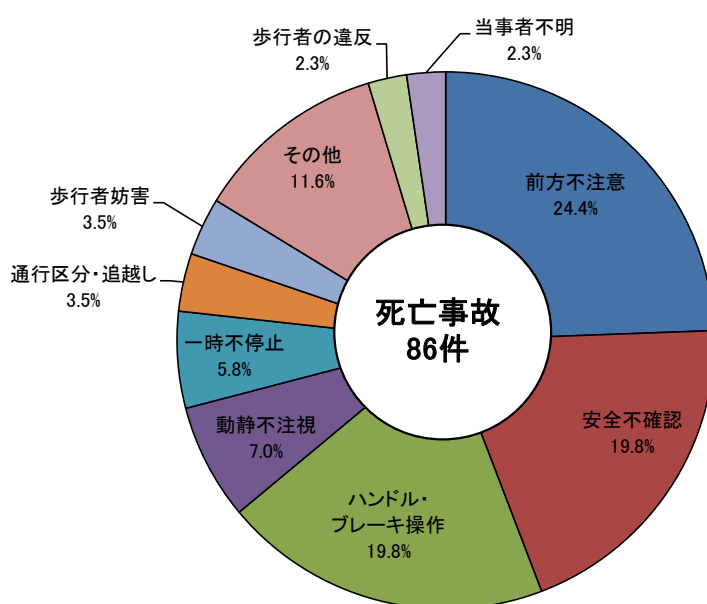
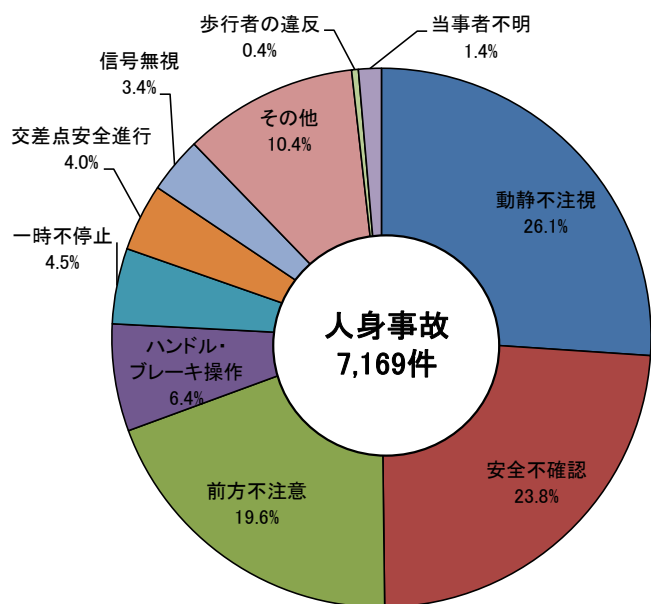
第1当事者の事故原因別

人身事故は、動静不注視、安全不確認、前方不注意による事故が全人身事故の約7割を占めている。

死亡事故は、前方不注意、安全不確認、ハンドル・ブレーキ操作不適による事故が全死亡事故の6割以上を占めている。



- 車は急には止まれません。停止するまでに
時速40キロでは約17.3m
時速50キロでは約24.5m
時速60キロでは約32.7m
かかります。
- 運転中は、脇見やぼんやり運転をせず
運転に集中し、常に進路前方や周囲の状況を確認しましょう。
自転車や歩行者は、車の動きに注意を払い、無理な横断などは絶対に避けましょう。



区 分	車両等の違反																	歩 行 者 の 違 反	当 事 者 不 明	合 計	う ち 無 免 許	
	信 号 無 視	通 行 区 分 ・ 追 越 し	最 高 速 度	歩 行 者 妨 害 等	一 時 不 停 止	酒 酔 い	右 ・ 左 折	優 先 通 行 妨 害	交 差 点 安 全 進 行	徐 行 場 所	安全運転義務					そ の 他	調 査 不 能					小 計
											ブ レ ー キ 操 作 ・ ハ ン ド ル ・	前 方 不 注 意	動 静 不 注 視	安 全 不 確 認	そ の 他							
人身事故(件)	241	45	4	153	325	3	11	102	290	82	461	1,404	1,868	1,703	302	29	19	7,042	29	98	7,169	50
構 成 率	3.4	0.6	0.1	2.1	4.5	0.0	0.2	1.4	4.0	1.1	6.4	19.6	26.1	23.8	4.2	0.4	0.3	98.2	0.4	1.4	100.0	0.7
うち死亡事故(件)	2	3	1	3	5	0	0	2	2	0	17	21	6	17	3	0	0	82	2	2	86	0
構 成 率	2.3	3.5	1.2	3.5	5.8	0.0	0.0	2.3	2.3	0.0	19.8	24.4	7.0	19.8	3.5	0.0	0.0	95.3	2.3	2.3	100.0	0.0

注 うち無免許とは、第1当事者が原付以上であった人身事故又は死亡事故のうち、当該第1当事者が無免許であった事故をいう。

12 第1当事者の職業別

サービス業に従事する第1当事者による事故が、人身事故の4割以上を占めている。

●家庭 や職場などで交通ルールを守ることの大切さを話し合いましょう。



3000	2000	1000	人身事故 (件)	職業別	死亡事故 (件)	10	20	30
			55	子供	2			
			62	高校生	0			
			133	大学生	0			
			58	その他学生	0			
			348	職業運転者	9			
			209	公務員	2			
			78	農林業	2			
			19	漁業	0			
			3	鉱業	0			
			270	建設業	7			
			467	製造業	9			
			187	卸・小売業	5			
			51	金融保険業	1			
			6	不動産業	0			
			74	運輸・郵便業	0			
			12	通信業	0			
			41	電気・ガス・熱・水道業	1			
			1	学術研究	0			
			67	宿泊・飲食業	0			
			167	生活関連サービス	2			
			74	教育・学習支援業	2			
			347	医療・福祉	2			
			27	複合サービス業	1			
			3,004	その他サービス業	14			
			9	分類不能の産業	0			
			336	主婦	1			
			953	無職	24			
			3	外国人	0			
			108	その他	2			
			7,169	合計	86			

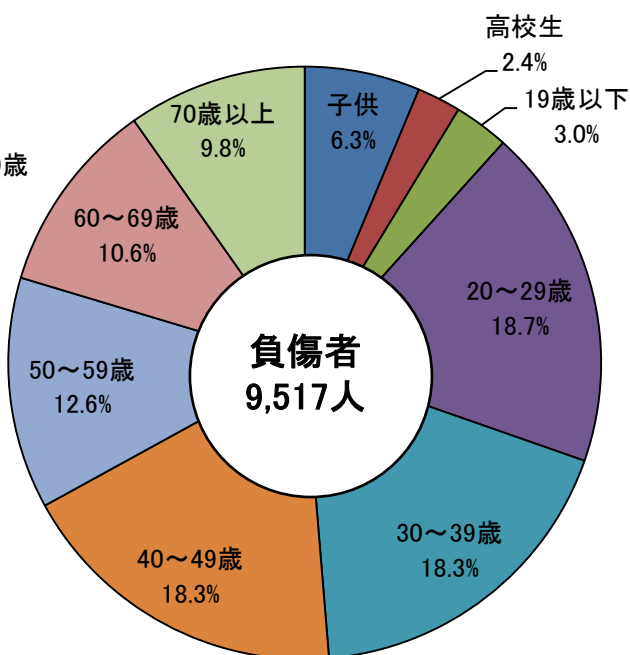
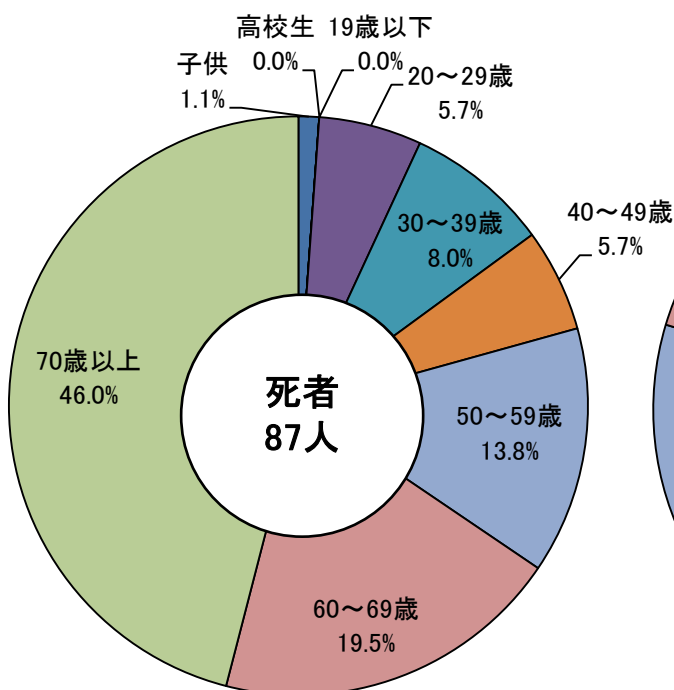
区 分	子 供	高 校 生	大 学 生	そ の 他 学 生	職 業 運 転 者	公 務 員	農 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	卸・小 売 業	金 融 保 険 業	不 動 産 業	運 輸・ 郵 便 業
人身事故(件)	55	62	133	58	348	209	78	19	3	270	467	187	51	6	74
構成率	0.8	0.9	1.9	0.8	4.9	2.9	1.1	0.3	0.0	3.8	6.5	2.6	0.7	0.1	1.0
うち死亡事故(件)	2	0	0	0	9	2	2	0	0	7	9	5	1	0	0
構成率	2.3	0.0	0.0	0.0	10.5	2.3	2.3	0.0	0.0	8.1	10.5	5.8	1.2	0.0	0.0

区 分	通 信 業	水 ガ ス 道 業 ・ 熱 ・ 電 気 業	学 術 研 究	宿 泊 ・ 飲 食 業	サ イ フ 活 動 関 連 業	支 教 育 ・ 学 習 支 援 業	医 療 ・ 福 祉	複 合 サ ー ビ ス 業	そ の 他 サ ー ビ ス 業	分 類 不 能 の 産 業	主 婦	無 職	外 国 人	不 明 等	合 計
人身事故(件)	12	41	1	67	167	74	347	27	3,004	9	336	953	3	108	7,169
構成率	0.2	0.6	0.0	0.9	2.3	1.0	4.8	0.4	41.9	0.1	4.7	13.3	0.0	1.5	100.0
うち死亡事故(件)	0	1	0	0	2	2	2	1	14	0	1	24	0	2	86
構成率	0.0	1.2	0.0	0.0	2.3	2.3	2.3	1.2	16.3	0.0	1.2	27.9	0.0	2.3	100.0

13 死傷者の年齢層別

65歳以上の高齢者の死者が、全死者の約6割（87人中52人）を占めている。

●道路を横断するときは、左右の安全を確認してから横断しましょう。



区 分	子 供	高 校 生	19 歳 以 下	20 歳 ～ 29 歳	30 歳 ～ 39 歳	40 歳 ～ 49 歳	50 歳 ～ 59 歳	60 歳 ～ 69 歳	70 歳 以 上	合 計
死 者 数	1	0	0	5	7	5	12	17	40	87
構 成 率	1.1	0.0	0.0	5.7	8.0	5.7	13.8	19.5	46.0	100.0
負 傷 者 数	599	227	285	1,778	1,745	1,743	1,203	1,008	929	9,517
構 成 率	6.3	2.4	3.0	18.7	18.3	18.3	12.6	10.6	9.8	100.0

再 掲	
若 年 者 (16歳～24歳)	高 齢 者 (65歳以上)
3	52
3.4	59.8
1,290	1,448
13.6	15.2

※子供は、中学生以下をいい、19歳以下は、子供と高校生を除いた少年をいう。

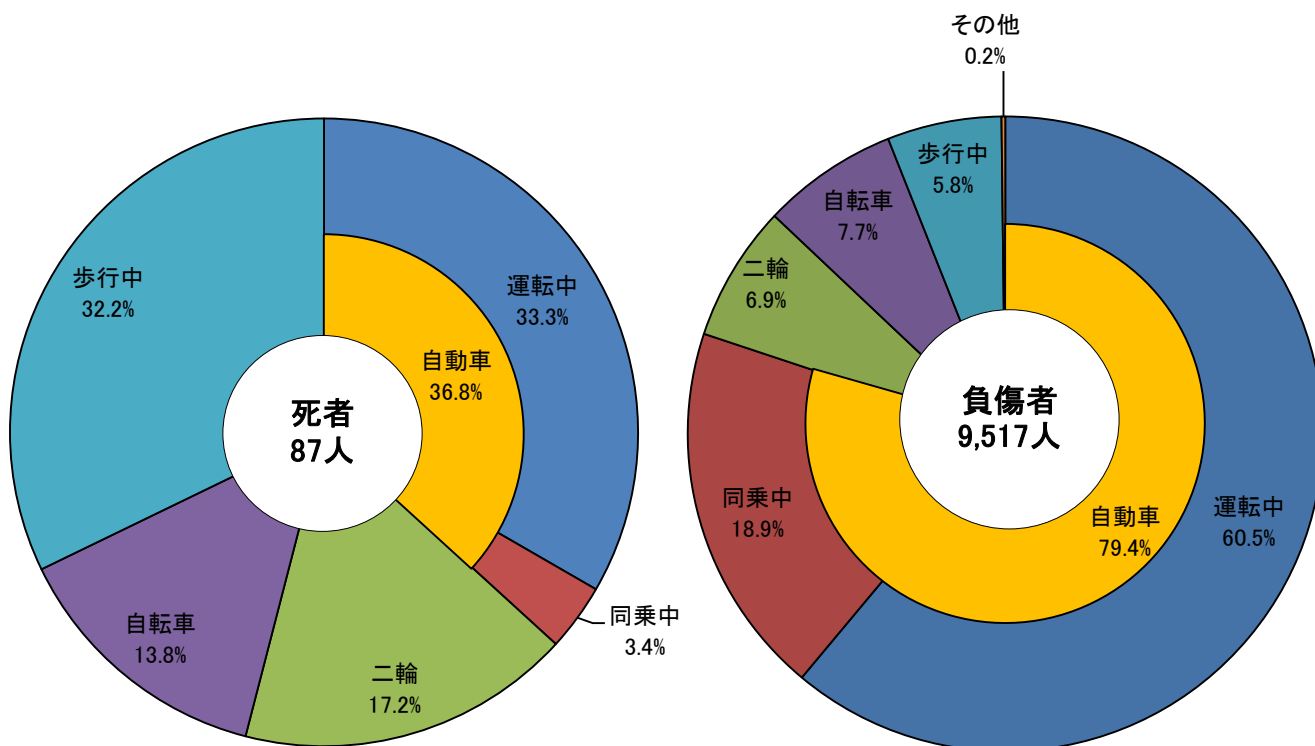
14

死傷者の状態別

自動車乗車中の負傷者が7,558人(約79%)で最も多い。

自転車乗用中、歩行中の死者が全死者の5割近くを占めている。

●思いやりの気持ちを持って、ゆとりある運転に努めましょう。



区 分	運 転 中				同 乗 中				歩 行 中	そ の 他	合 計
	自 動 車	二 輪	自 転 車	小 計	自 動 車	二 輪	自 転 車	小 計			
死 者 数	29	15	12	56	3	0	0	3	28	0	87
構 成 率	33.3	17.2	13.8	64.4	3.4	0.0	0.0	3.4	32.2	0.0	100.0
負 傷 者 数	5,762	644	732	7,138	1,796	11	5	1,812	549	18	9,517
構 成 率	60.5	6.8	7.7	75.0	18.9	0.1	0.1	19.0	5.8	0.2	100.0

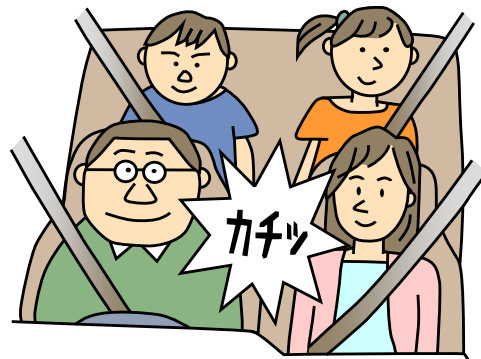
15

シートベルトの着用状況

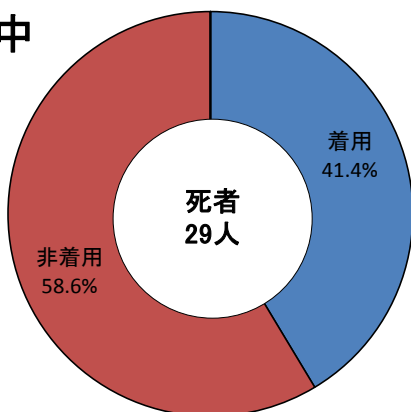
死者の着用率は約44%であり、負傷者の着用率（約96%）と比べ低い。

●シートベルト非着用死者18人中13人（約72%）が、シートベルトを着用していれば助かったと推定されます。

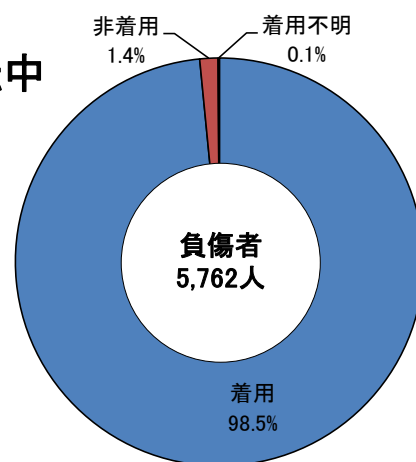
●後部座席を含め、シートベルトの着用は義務付けられています。自動車に乗車するときは確実に着用しましょう。



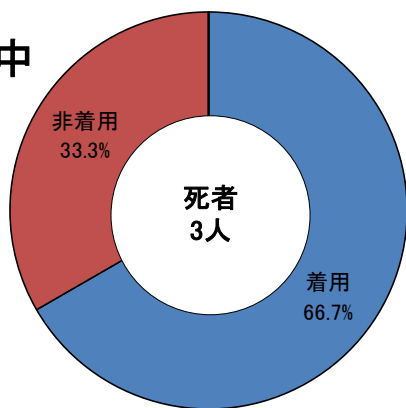
運転中



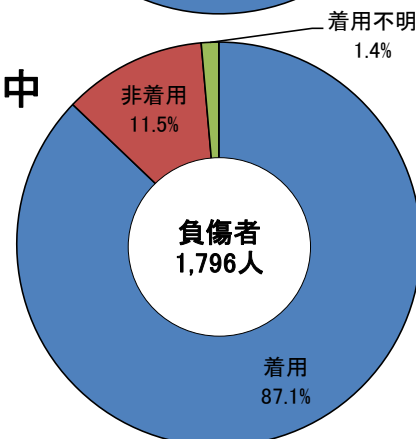
運転中



同乗中



同乗中



区 分		自 動 車												特殊車		合 計		
		大型車		中型車		普通車		軽自動車		ミニカー		小計						
		運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	計
死者数	着 用			1		4		7	2			12	2			12	2	14
	着用率%			50.0		40.0		50.0	100.0			42.9	66.7			41.4	66.7	43.8
	非 着 用	2		1	1	6		7				16	1	1		17	1	18
	着用不明																	
	計	2		2	1	10		14	2			28	3	1		29	3	32
負傷者数	着 用	59	10	87	5	2,957	982	2,569	568			5,672	1,565	1		5,673	1,565	7,238
	着用率%	95.2	35.7	97.8	83.3	98.7	87.8	98.3	88.3			98.5	87.1	50.0		98.5	87.1	95.8
	非 着 用	3	5	2	1	38	129	39	71			82	206	1		83	206	289
	着用不明		13			1	8	5	4			6	25			6	25	31
	計	62	28	89	6	2,996	1,119	2,613	643			5,760	1,796	2		5,762	1,796	7,558

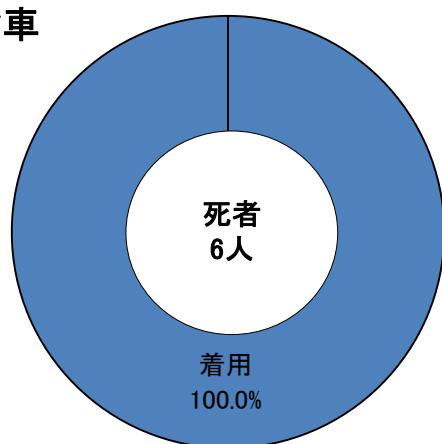
16 ヘルメットの着用状況(自動二輪車・原付自転車)

死傷者の約4%がヘルメットを着用していない。

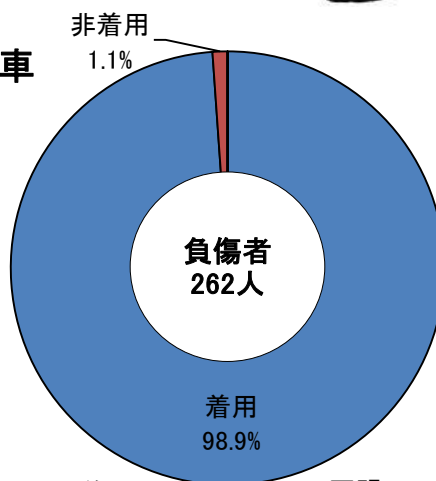
●ヘルメットは、あなたの命を守ります。
正しく着用しましょう。



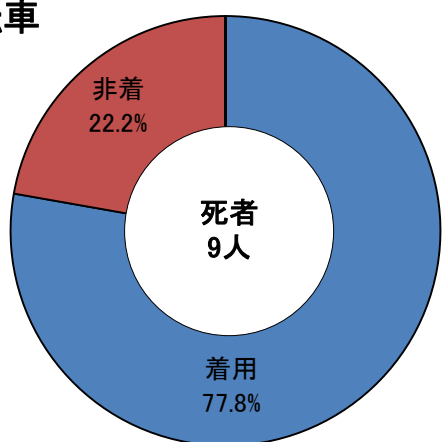
自動二輪車



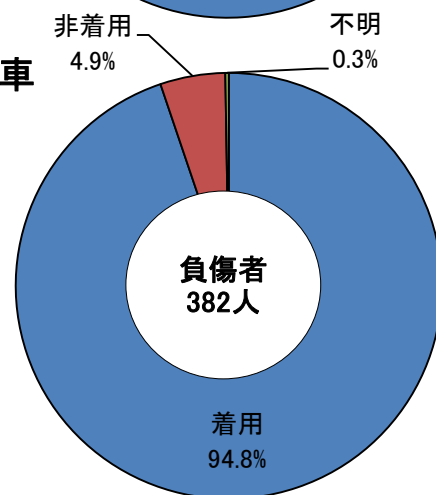
自動二輪車



原付自転車
(50cc)



原付自転車
(50cc)



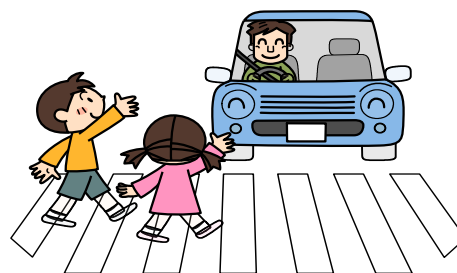
区 分		自 動 二 輪												原付自転車		合 計		
		小型二輪						軽二輪 126～250cc		原付二種 51～125cc		小 計						
		751cc以上		401～750cc		251～400cc												
		運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	計
死者数	着 用	2						2		2		6		7		13		13
	着用率%	100.0						100.0		100.0		100.0		77.8		86.7		86.7
	非 着 用													2		2		2
	着用不明																	
	計	2						2		2		6		9		15		15
負傷者数	着 用	51	2	14	1	48	4	55	1	91		259	8	365		624	8	632
	着用率%	100.0	100.0	93.3	100.0	98.0	100.0	100.0	100.0	98.9		98.9	100.0	95.5		96.9	72.7	96.5
	非 着 用			1		1				1		3		16	3	19	3	22
	着用不明													1		1		1
	計	51	2	15	1	49	4	55	1	92		262	8	382	3	644	11	655

第 4 各種の交通事故

1

子供の交通事故

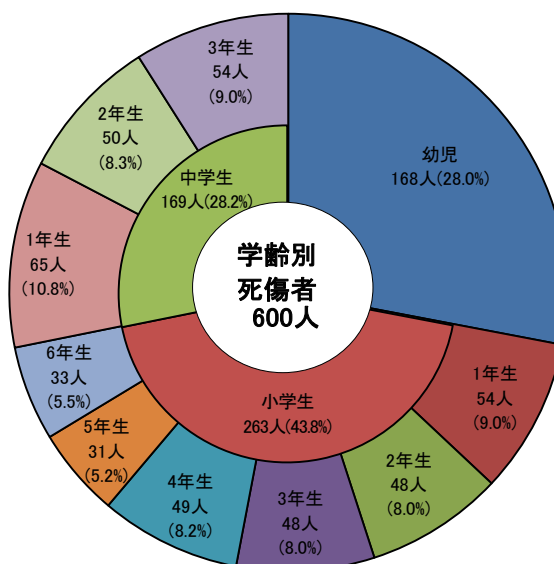
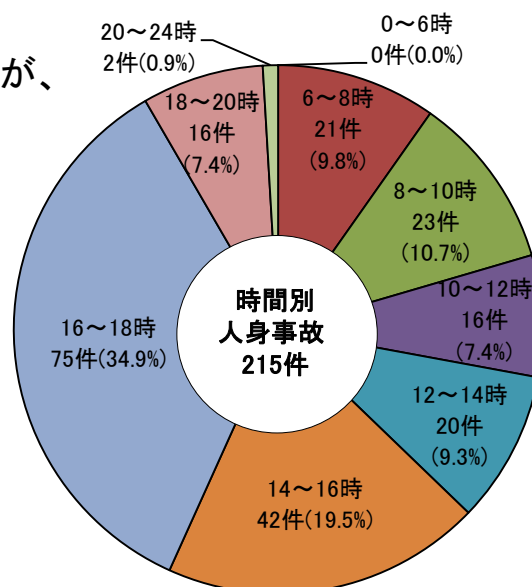
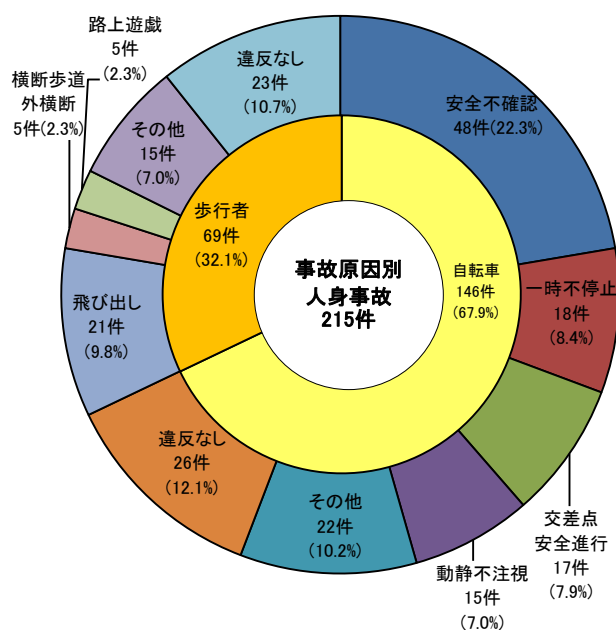
(幼児、小・中学生が関与した事故)



小学生の死傷者が子供の死傷者の約44%を占めている。

事故原因別では、自転車は安全不確認が、歩行者は飛び出しが目立っている。

- 道路を横断するときは、横断歩道を渡りましょう。
- 自転車に乗るときは、ヘルメットを着用しましょう。



※死者の内訳は、自転車乗用中の小学生1人

区 分	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
人身事故(件)	533	573	510	459	432	369	365	354	273	215
死 者 数	2	3	5	3	3	2	3	2	3	1
負傷者数	1,241	1,291	1,070	1,038	997	859	870	834	661	599
死 傷 者 率	7.0	7.6	6.8	6.8	6.7	6.2	6.5	6.4	6.1	6.2

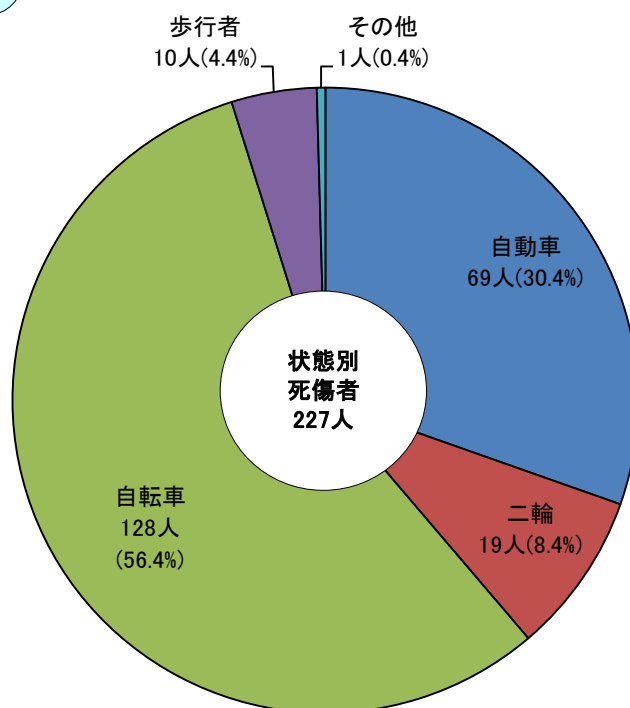
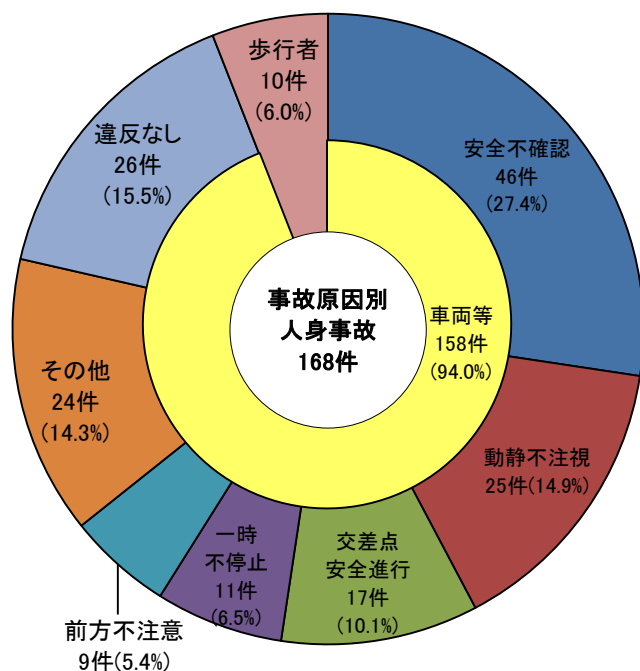
2 高校生の交通事故

自転車乗用中の死傷者が、高校生の死傷者の約56%を占めている。

事故原因別では、安全不確認や動静不注視が目立っている。



- 自転車乗用中の携帯電話・スマートフォン等の使用はやめましょう。
- ヘッドホン等で音楽を聴きながらの運転はやめましょう



※高校生同士の事故はなし

※車両等のうち原付以上による事故は25件、自転車による事故は133件

区 分	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
人身事故(件)	353	342	347	307	278	261	255	244	211	168
死者数	8	4	0	0	2	1	2	2	1	0
負傷者数	507	461	442	374	369	341	350	313	270	227
死 傷 者 率	2.9	2.7	2.8	2.5	2.5	2.5	2.6	2.4	2.5	2.4

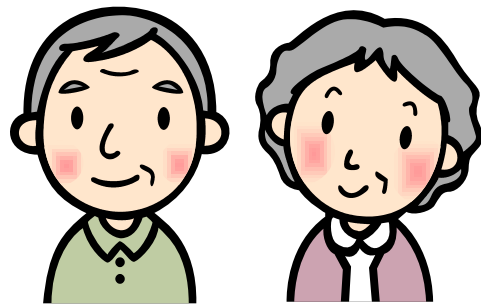
3 高齢者の交通事故

(年齢65歳以上の人に関与した事故)

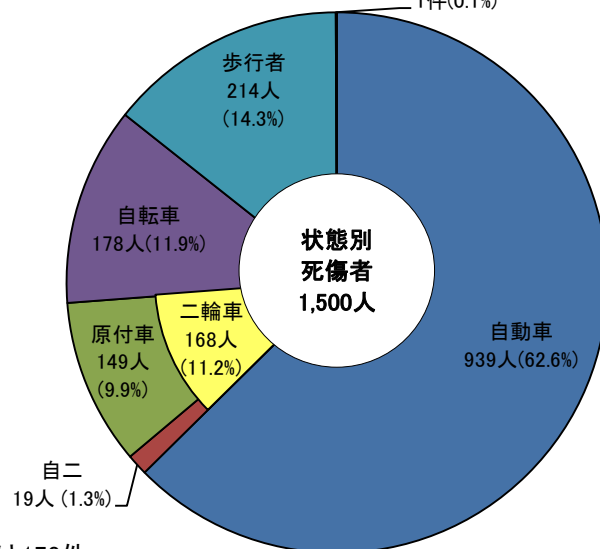
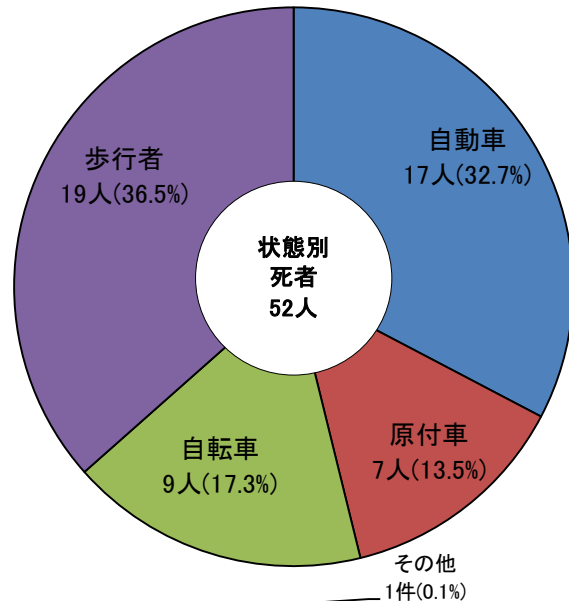
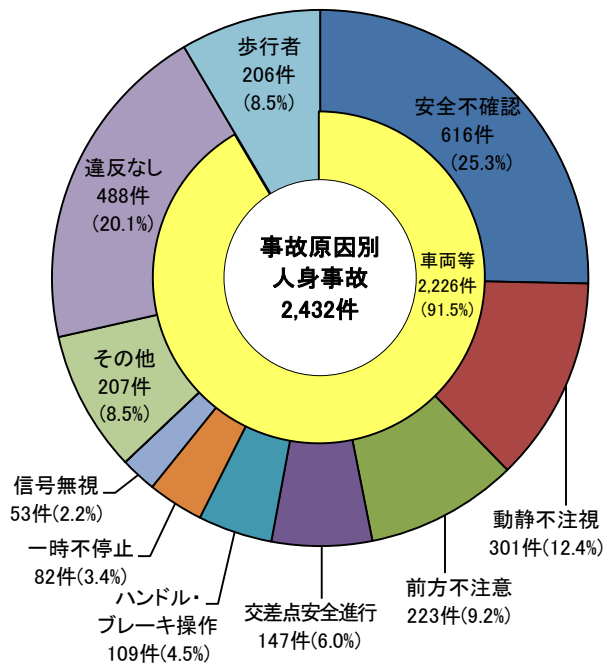
(1) 全体

自動車乗車中の死傷者が約63%を占めている。

事故原因別では、安全不確認や動静不注視による事故が目立っている。



●加齢に伴い、身体機能が変化します。自分の身体機能に合わせて、十分な注意と、ゆとりのある交通行動をとしましょう。



※高齢者同士の事故281件を重複計上

※原付以上による事故は2,048件、自転車による事故は178件

区分	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
人身事故(件)	2,982	2,987	2,907	2,993	2,867	2,633	2,731	2,767	2,330	2,151
死者数	70	55	56	65	71	53	48	49	57	52
負傷者数	2,406	2,306	2,169	2,236	2,126	1,862	1,922	1,892	1,647	1,448
死傷者率	13.9	13.8	14.2	15.1	14.6	13.8	14.7	15.0	15.7	15.6

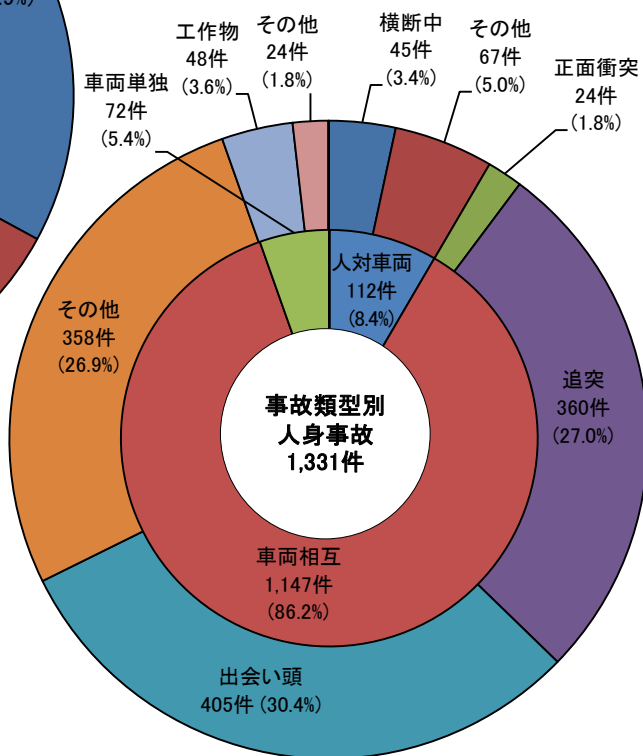
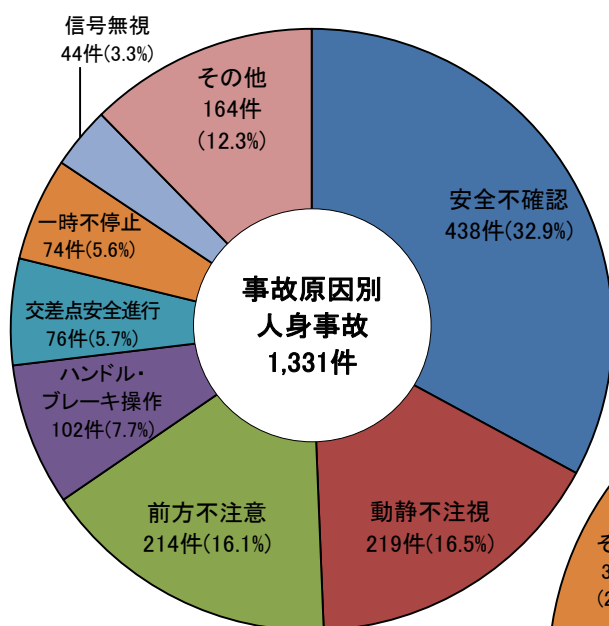
(2)高齢運転者

(年齢65歳以上で原付以上の運転者が第1当事者になった事故)

人身事故の約5件に1件が、死亡事故の約3件に1件が高齢運転者による事故です。



- 運転中は、常に周囲の状況に注意を払い、安全運転を心掛けましょう。
- 高齢運転者標識を付けた自動車への幅寄せや割り込みはやめましょう。



区 分	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
人身事故(件)	1,656	1,703	1,732	1,777	1,673	1,618	1,642	1,702	1,416	1,331
構成率	13.3	14.1	15.3	16.4	15.5	16.1	16.9	18.1	18.3	19.4
うち死亡事故(件)	21	22	21	23	30	20	28	20	20	28
構成率	15.3	21.6	20.4	22.5	25.0	25.3	31.5	25.0	22.5	37.8

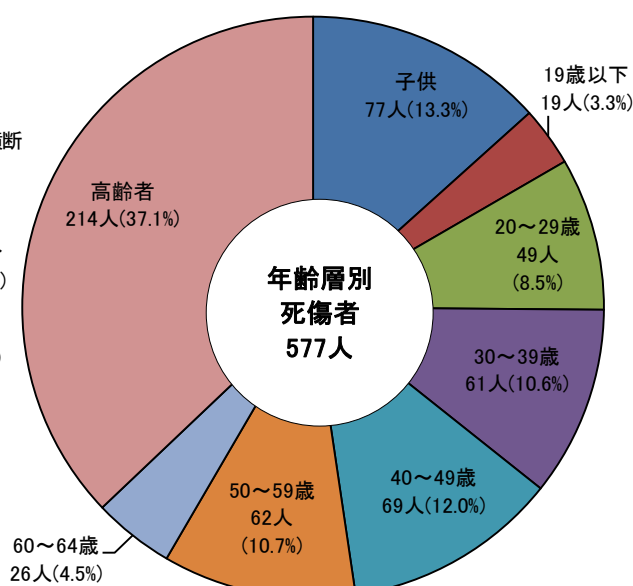
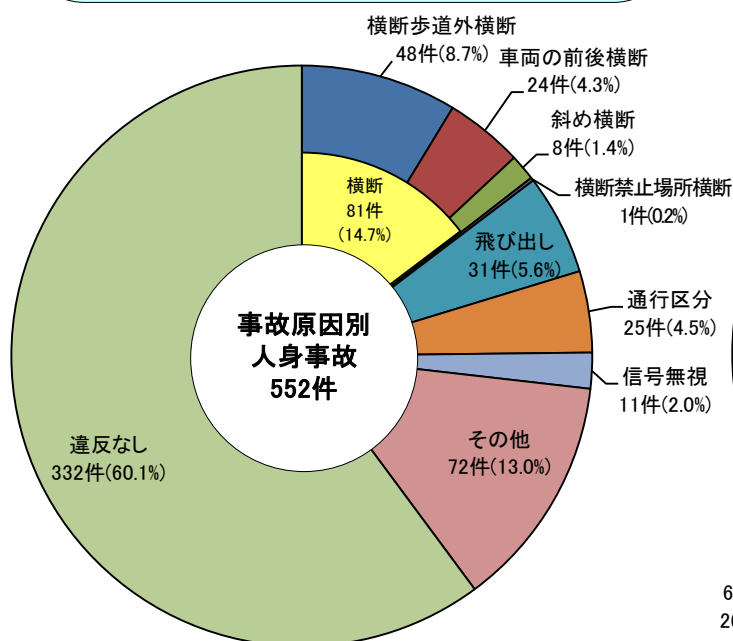
4 歩行者の交通事故

原因別では、横断違反(81件)と飛び出し(31件)が目立っている。

年齢層別では、高齢者の死傷者が4割近くを占めている。



- 道路を横断するときは、横断歩道を利用しましょう。
- 車のかげからの飛び出しは、危険ですから絶対にやめましょう。
- 夕暮れ時や夜間に外出するときは、夜光反射材を身に着けましょう。



※ 死者28人の内訳は、20～29歳1人、30～39歳2人、40～49歳3人、50～59歳3人、高齢者19人である。

区 分	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
人身事故(件)	830	812	788	739	729	677	665	731	592	552
死 者 数	47	44	34	39	37	28	31	33	36	28
負傷者数	826	804	805	731	719	693	660	733	578	549
死 傷 者 率	4.9	5.0	5.3	5.1	5.0	5.2	5.2	5.9	5.7	6.0

5

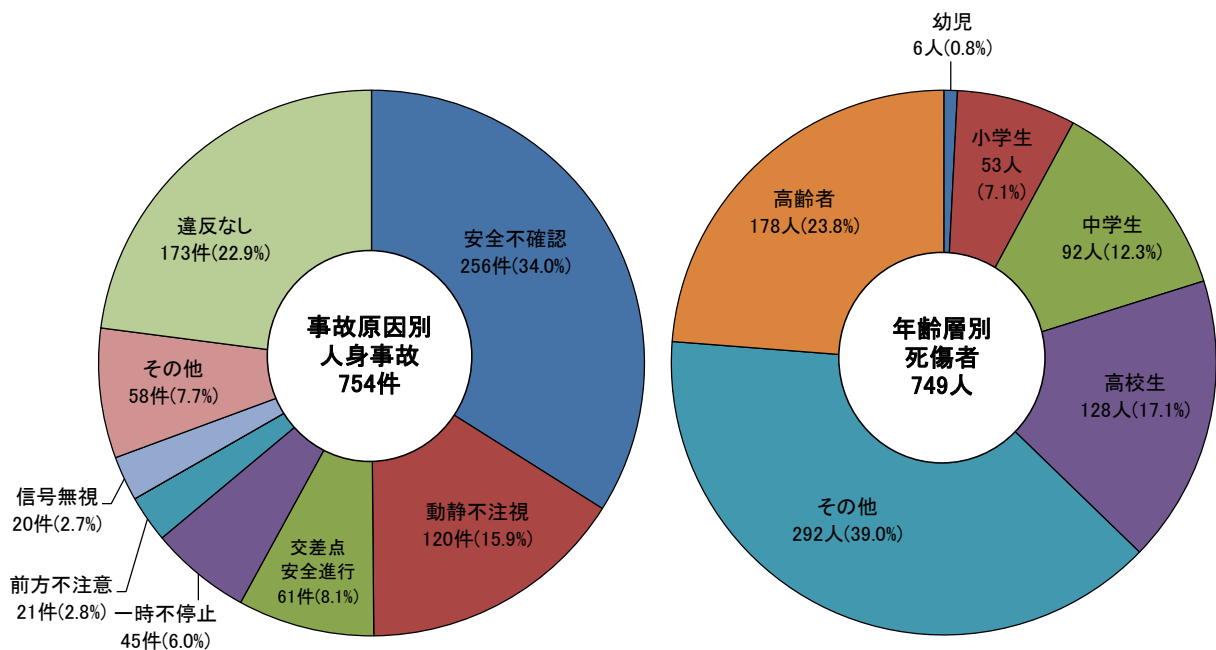
自転車の交通事故

原因別では、安全不確認、動静不注視で全体の約50%を占めている。
年齢層別では、高校生以下の死傷者が約37%を占めている。



自転車安全利用五則

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4. 安全ルールを守る
 - *飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - *夜間はライトを点灯
 - *交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
5. 子どもはヘルメットを着用



※自転車同士の事故4件を重複計上

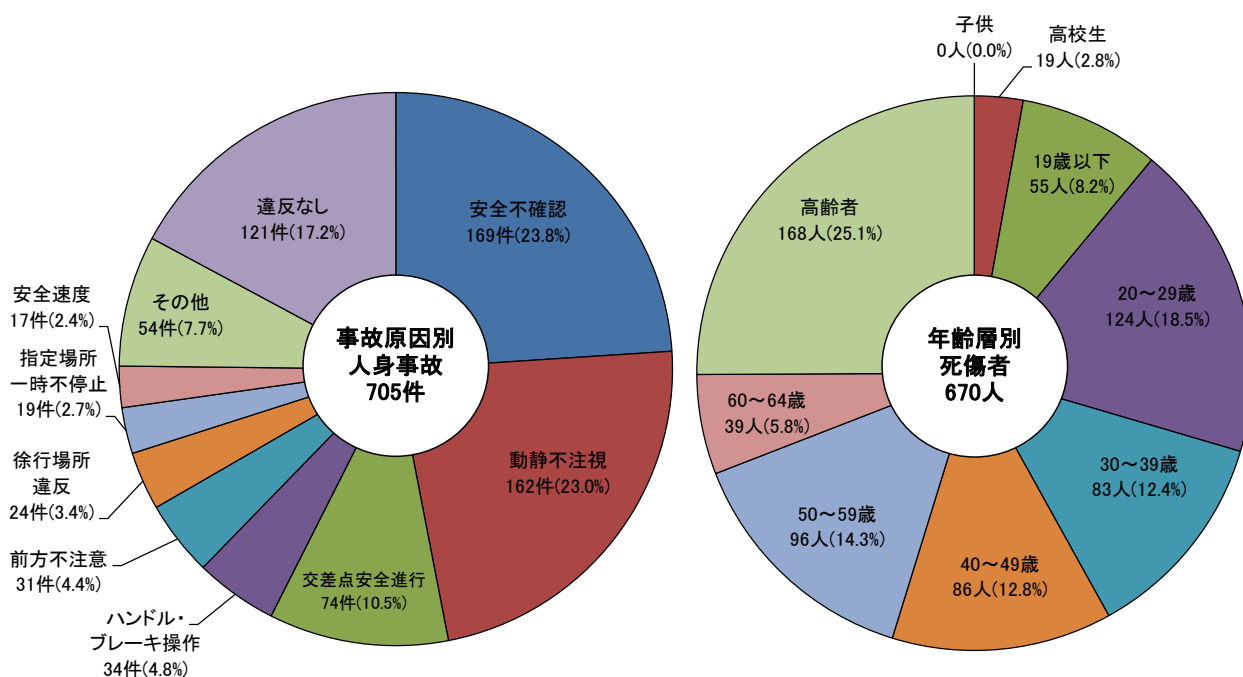
※ 死者12人の内訳は、小学生1人、その他2人 高齢者9人である。

区分	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
人身事故(件)	1,638	1,749	1,590	1,512	1,415	1,224	1,235	1,150	954	750
死者数	17	11	16	13	16	17	8	8	18	12
負傷者数	1,655	1,769	1,580	1,510	1,419	1,217	1,238	1,143	939	737
死傷者率	9.4	10.4	10.2	10.0	9.6	8.9	9.3	8.9	8.8	7.8

6 二輪車の交通事故

原因別では、安全不確認と動静不注視で全体の約47%を占めている。
年齢層別では、高齢者の死傷者が、約25%を占めている。

- 一時停止の交通規制が実施されているところでは、必ず一時停止して、左右の安全を確認しましょう。
- 二輪車を運転するときは、正しい乗車姿勢を保ち、ヘルメットを正しく着用しましょう。



※ 二輪車同士の事故18件を重複計上
※ 無免許は8件

※ 死者15人の内訳は、30～39歳3人、50～59歳4人、60～64歳1人、高齢者7人である。

区分	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
人身事故(件)	1,609	1,698	1,543	1,379	1,349	1,168	1,076	1,005	829	687
死者数	31	14	23	16	17	14	22	14	20	15
負傷者数	1,531	1,643	1,480	1,319	1,288	1,111	1,015	950	777	655
死傷者率	8.8	9.7	9.6	8.8	8.7	8.1	7.7	7.4	7.4	7.0

7

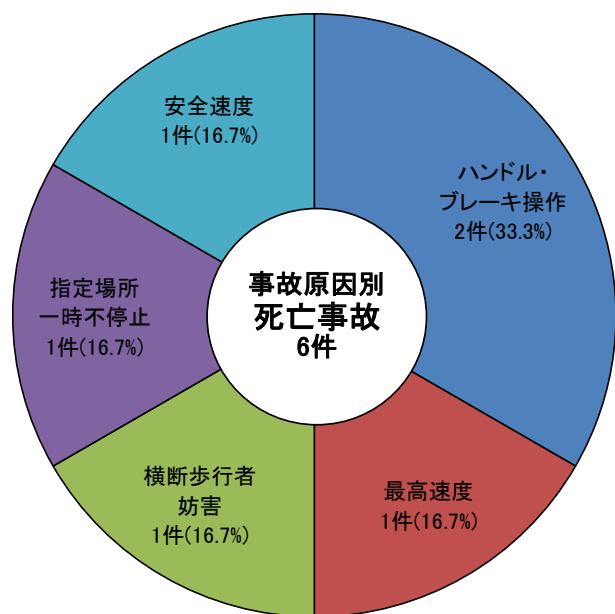
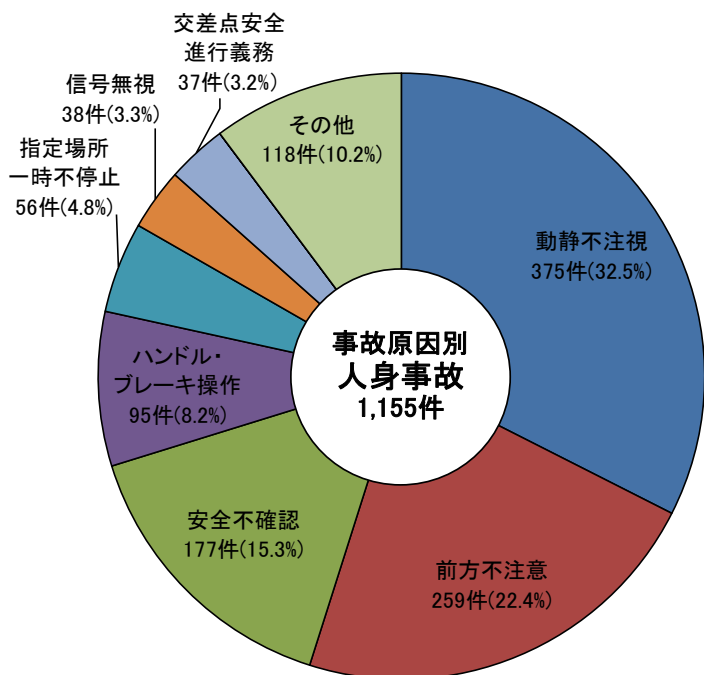
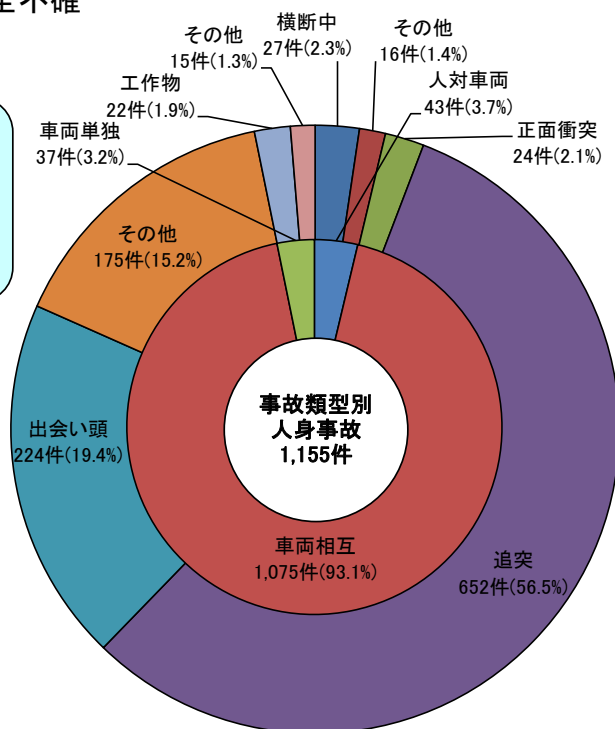
若年運転者の交通事故

(年齢16～24歳の原付以上の運転者が第1当事者となった事故)

人身事故の事故類型別では、追突が約57%を占めている。

原因別では、動静不注視、前方不注意、安全不確認で全体の7割以上を占めている。

- スピードが増すほど、危険も大きくなります。安全な速度で運転しましょう。
- 交通ルールを遵守して、常に周囲の状況に注意を払いましょう。



区分	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
人身事故(件)	2,445	2,243	2,071	1,929	1,899	1,719	1,669	1,563	1,294	1,155
構成率	19.7	18.6	18.3	17.8	17.6	17.2	17.2	16.7	16.7	16.9
うち死亡事故(件)	24	16	7	16	7	7	12	7	11	6
構成率	17.5	15.7	6.8	15.7	5.8	8.9	13.5	8.8	12.4	8.1

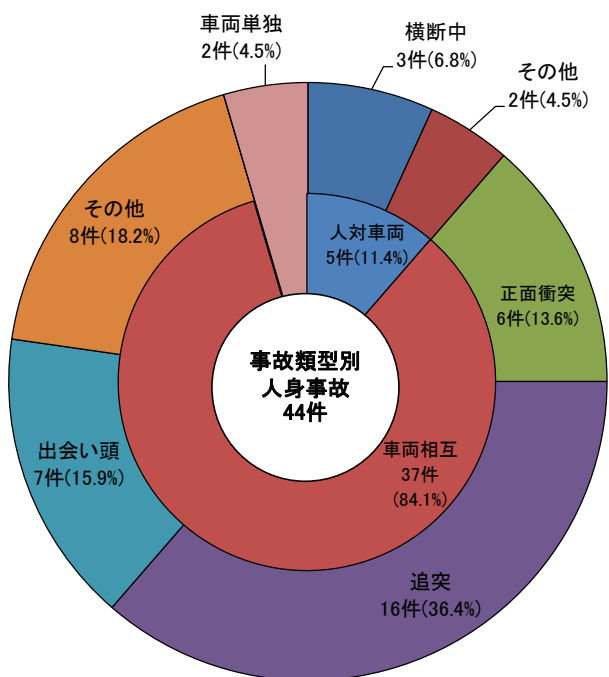
8

飲酒運転の交通事故

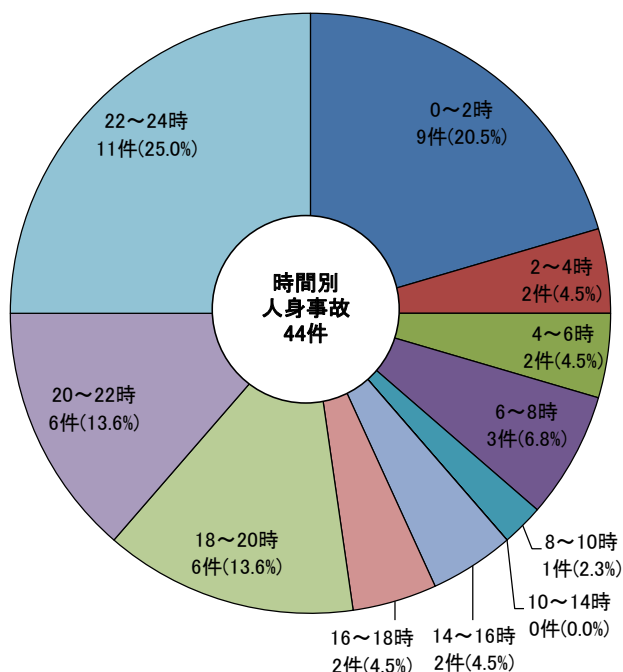
(原付以上の運転者が、飲酒運転をして第1当事者となった事故)

飲酒運転の人身事故は20時から2時までの6時間に約6割発生している。

- アルコールの影響で適切な判断や運転操作ができず、事故を引き起こす危険性が高くなります。
- 一人ひとりが、飲酒運転は絶対に「しない」「させない」ことを徹底し、飲酒運転を根絶しましょう。



※死亡事故1件は、車両単独



※死亡事故1件は、8～10時

区分	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
人身事故(件)	186	127	101	95	91	66	73	63	55	44
構成率	1.5	1.1	0.9	0.9	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.6
うち死亡事故(件)	24	8	10	7	6	6	4	3	9	1
構成率	17.5	7.8	9.7	6.9	5.0	7.6	4.5	3.8	10.1	1.4

■車両の事故原因

- ◇信号無視信号機の設けられている交差点で、赤又は黄色信号等を見逃して交差点に進入して事故を起こした場合等をいう。
- ◇通行区分センターラインを超えて、対向車線に進入して対向車と正面衝突した場合等をいう。
- ◇追い越し追い越し禁止場所や無理な追い越しをして、対向車等と衝突した場合をいう。
- ◇最高速度法定(指定)速度を超えて走行したため、歩行者の発見が遅れて衝突したり、カーブ路を曲がれなかったために事故を起こした場合等をいう。
- ◇歩行者妨害等横断歩道を横断中の歩行者や自転車横断帯を横断中の自転車の発見が遅れたために衝突した場合等をいう。
- ◇一時不停止一時停止の標識・道路標示のある交差点で、一時停止することなく、交差点に進入したために交差道路から走行してきた車両と衝突した場合等をいう。
- ◇酒酔い飲酒により正常な運転ができない状態で、車両を運転したために事故を起こした場合をいう。
- ◇右・左折右・左折禁止場所で右・左折をしたために事故を起こしたり、原付の二段階右折をしなかったために事故を起こした場合等をいう。
- ◇優先通行妨害交差点で右折する時に直進車両と衝突したり、明らかに優先道路を走行している車両と衝突した場合等をいう。
- ◇交差点安全進行交差点で、交差道路から走行してきた車両に特に注意しなかったために衝突したり、反対方向からの右折車両に特に注意しなかったために衝突した場合等をいう。
- ◇徐行場所左右の見とおしの悪い交差点や急な道路の曲がりかど付近等で減速徐行しなかったために交差道路から走行してきた車両や対向車と衝突した場合等をいう。
- ◇ハンドル・ブレーキ操作 ... カーブ路等で急ハンドルを切ったためにガードレールに衝突したり、急ブレーキを踏んだためにスリップして前車に追突した場合等をいう。
- ◇前方不注意考え事やぼんやりしていたり、脇見をしていたために前を良く見ていなかったために停止した前車に気づくのが遅れ追突した場合をいう。
- ◇動静不注視相手(車両・歩行者)の動きを良く見ていなかったために、相手の動きに対応できずに衝突した場合等をいう。
- ◇安全不確認前方・左右・後方に対する安全確認を怠ったために衝突した場合等をいう。
- ◇安全速度カーブ路等で道路状況・環境に応じた速度で走行しなかったために路外へ逸脱したり、飛び出した歩行者と衝突した場合等をいう。

■歩行者の事故原因

- ◇飛び出し安全を確認しないで路上に飛び出したために、車両等と衝突した場合をいう。
- ◇車両の前後横断駐車車両の直前・直後から横断したり、走行車両の直前・直後から横断したために車両等と衝突した場合をいう。
- ◇横断歩道外横断横断歩道が付近にある場所で横断歩道を利用せずに横断したために車両等と衝突した場合をいう。
- ◇横断禁止場所横断道路標識又は道路標示により横断が禁止されている道路で横断したために車両等と衝突した場合をいう。
- ◇幼児のひとり歩き児童等(13歳未満)が保護者を伴わずに一人歩きをしていたために、車両等と衝突した場合をいう。
- ◇めいてい・はいかい道路において、酒に酔ってふらついていたり、寝そべり等の交通妨害をしていたために車両等と衝突した場合をいう。

交通安全 年間スローガン 平成28年

※内閣総理大臣賞〈最優秀作〉を掲載

★運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの★

こんばんは 早めのライトで ごあいさつ

★歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの★

シニアこそ ジュニアのお手本 交通安全

★こども部門★

しんごうが あおでもよくみる みぎひだり

ゆずりあう 心が三重る 道が好き

～安全は あなた自身の 心がけ～